

2022-23年度RIテーマ  
IMAGINE ROTARY  
イマジン ローターリー



RI会長  
ジェニファー・ジョーンズ

## TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	板場 英行	会計	土伏 英晴	直前会長	福本 博之
会長エレクト	宮本 和彦	副会計	野田 眞治	管理運営	久藤 孝仁
幹事	木村 安伸	S A A	宇都宮勝博	会員組織	堀越 賢二
副幹事	中川 康子	副S A A	三好 静子	奉仕	吉本きよ子

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591  
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651  
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp  
http://www.takehara-rc.com  
例会日／毎週木曜日12:30~13:30  
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 7月14日

次週のプログラム 7月28日

各委員会活動計画発表

前年度決算報告  
クラブアセンブリー

### 【2022年7月7日 第2741回例会記録】

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- 4つのテスト：堀越賢二会員
- ゲスト：米山奨学生 丁若沼様
- 会員数：14名（免除者：0名）
- 出席者：12名 □欠席者：2名
- メイク：0名 □出席率：85.71%

### スマイルボックス

- 配偶者誕生日：宮本
- 就任スマイル：佐渡、大森、中川、久藤、吉本、木村、堀越、三好、宮本、板場、宇都宮
- 100%出席：佐渡、大森、中川、久藤、吉本、木村、堀越、宮本、板場、宇都宮

### 米山奨学生 丁さんへ奨学金お渡し



### 幹事報告



- 【幹事 木村 安伸】
- ・ロータリーレート7月 1 \$ = 136円
  - ・ロータリーカード利用拡大のお願い
  - ・例会終了後、定例理事役員会を開催します

### 記念日代表謝辞

7月記念日 宮本和彦会員



- ・2022-23年度クラブ概況並びに活動計画書についてご説明します。
- P15.役員および理事の欄について、細則第二条定義に、監事：会計監査とありますので、例年は会計監査と記載しておりましたが「監事」に修正しておりますのでご報告申し上げます。



【会長 板場英行】

国際ロータリー第2710地区竹原ロータリークラブ2022-23年度のクラブ活動が始まりました。新型コロナウイルス感染第7波が懸念される近況で、感染拡大による今後のクラブ活動に多大な影響が予測される船出ですが、来年6月までの1年間頑張りましょう。

本日の中国新聞朝刊には、「忘れない決意の灯」として、西日本豪雨4年を迎えた特集記事が報道されていました。本地域は、昨年も同時期に集中豪雨の被害を受けており、災害の教訓の継承、地域復興への強い思いを忘れないことが大切と考えます。

本日7月7日は七夕ですが、2022年のこの日は「一粒万倍日」と呼ばれる縁起が良い日です。

一粒の籾が万倍に実り素晴らしい稲穂になることの意味で、仕事始め、開店、種まきなど新しい仕事をスタートする良い日といわれます。この良い日にクラブの活動をスタートできることは幸いです。

来年6月末日までの1年間、「通常活動回帰」を目指した順風満帆のセーリングが出来るよう尽力したいと考えます。

2022～23年度の本クラブ例会は、月3回平均の35回開催予定です。会長の時間では、ロータリー情報提供、国内外の社会動向に関する私見、自己の職業スキルに基づく健康とリハビリテーションの内容を毎月盛り込んで話す予定です。

本日は、ロータリー情報提供として、参考資料2枚を用意しました。1枚はロータリアン、ロータリーの原点といえる内容です。先月末に医薬経済社から発刊されました田原栄一パストガバナー著「人生100年時代に向けて健康寿命を延ばそう」から一部引用しました。本年3月のPETS&地区研修セミナーの基調講演内容に、ロータリーの歴史的変遷と変革などが述べられている著書と併せ、資料をご一読ください。

会長 板場 英行

竹原ロータリークラブ2022-23年度の「クラブ運営方針」は、クラブ概況並びに活動計画のP5に示しています。P2～3のジュニア・ジョーンズRI会長のテーマ「Imagine Rotary」とテーマロゴの紹介、P4の第2710地区石川良興ガバナーの地区運営方針(ガバナー信条、戦略的優先事項、年次目標)と併せご確認ください。

以下、P5のクラブ運営方針後半部分の抜粋です。ジュニア・ジョーンズRI会長のテーマは「Imagine Rotary」です。3年間のパンデミックを経験し、一時的停滞を余儀なくされたロータリー活動ですが、今一度クラブ活動の原点と優先する行動戦略を再考し、クラブ内外における諸活動において、ロータリアンとして共通の心(奉仕の心)で繋がり、同じフロアスタンスに立って、変化を受け入れ他者を思いやる「心」と「力」を想像(創造)する起点の年となれば幸いです。

1980年代には50名を超える会員で活動を行っていた本クラブですが、2010年以降の数的マンパワー基盤の弱体化傾向が止まらない現況です。2022～23年度のクラブ活動は、過去3年間のパンデミックからの脱却を主眼とした「通常活動回帰」をテーマとして、全会員参加による実現可能な活動の遂行、実施を目指したいと考えます。

具体的には、会員の積極的な参加を基盤とした例会の充実、親睦(新入会員、家族、3クラブ合同例会での親睦を含む)の促進、クラブおよび個人での各奉仕活動実施、新規会員の入会推進、DEI(Diversity:多様性、Equity:公平さ、Inclusion:インクルージョン、開放性、包括)の理解と普及、米山奨学生の支援、がん・生活習慣病の予防啓発による健康寿命延伸です。

委員会報告

□前年度幹事 宮本 和彦

7月3日(日)的場海岸清掃へ木村会員と私の二名が参加致し、無事終了しましたのでご報告致します。

これは、瀬戸内海に面する県の各市町村が当日一斉に瀬戸内海をきれいにするために清掃をしましょうと各市町村長の首長がトップになり海岸清掃をするものです。

7月14日(木)12時より前年度理事役員会を開催しますのでご参集のほどよろしくお願い致します。